



ひだか 商工会だより

平成30年1月31日(第105号)

平成三十年 年頭のついで挨拶

会長 武田 卓也

新年明けましておめでとうございます。平成三十年の新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

会員の皆様には、日頃より商工会事業に対しまして、暖かいご支援ご協力をいただき、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、一昨年八月の台風十号で被災した日高町と清水町を結ぶ国道二七四号線日勝峠の通行止めが、十月二十八日一年二カ月ぶりに解除され開通いたしました。通行止めの間、両町の住民、会員企業、観光や商業など地域経済も大きな打撃を受け、早期の通行再開は地域の悲願であり

ました。甚大な被害が発生し、復旧に少なくとも三年はかかると思われていました。が、北海道開発局と受注業者の二十四時間体制の作業により、予想以上の早さで工事が進展し、工期を短縮することができ通行再開を実現させました。

復興に向けご尽力いただきました関係者の皆様、大変有難うございました。今後は、峠の再開通で車の交通量が増え、地域経済に以前の活気が戻ってくることを期待しております。

また、三月には日高自動車道の「厚賀インターチェンジ」(日高門別IC—厚賀IC間十四・二キロメートル)が開通する予定です。日高自

動車道の整備効果に ついては、災害時や救急搬送時のネットワーク強化が挙げられます。大津波警報などで海岸沿いを走る国道二三五号線が通行止めとなるケースでは、日高自動車道の機能が命綱となることでしょう。

人口減少・超高齢社会を迎える中、地方創成、人口減少克服の観点から広域観光やインバウンド等による地域経済の活性化が求められており、厚賀ICの開通を契機として、日高地域への人の流れを拡大し、地域活性化につながる、地域の魅力を発信して行きたいと思えます。

商工会は、地域経済団体として小規模事業者の経営改善や発展を支援する事業(経営改善普及事業)を実施し、地域コミュニティの維持・発

展に向けた施策等の実施に取り組み、商工会と会員との長い間培った密接な関係を基に、会員に向けた伴走型の支援を行い、地域経済活性化に寄与する事業を展開して行きます。

本年は、会員の皆様とともに役員一同、会員事業所に支持される組織づくり、そして会員に向けた情報収集とあらゆる提案型による情報提供の発信を積極的に行い、組んで参りたいと思っております。

更に、地元基幹産業の軌軸でもある、「ホツカイドウ競馬」は、会員をはじめ地域の皆様のご支援により、昨年の発売実績は、前年比及び計画比ともに大幅な増加となり、七年連続の売上増、五年連続の黒字決算としました。商工会としては、今後も地域団体や自治体との協働による支

援事業を実施し、各種支援策を講じ地域経済の発展と観光地としての掘り起こしに向けた施策を講じ、競馬場を核とした観光立国を提唱して参りたいと思っております。

経済は決して楽観視できない状況にあります。会員並びに地域から求められる存在となるため、組織の充実と効果的な事業執行体制を整備し、地域産業の貢献に邁進してまいります。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と事業の益々のご繁栄をご祈念申し上げ年頭にあたってのご挨拶といたします。



もんちゃんプラザ閉館

永らく皆様に活用いただきまし
たもんちゃんプラザですが、昨年
十月末をもちまして閉館いたしま
した。平成十六年より開館し約十
三年余、開館中は多くの皆様がご
来館され、ご利用いただきまして
ありがとうございました。また、
運営に際しご協力していただきま
した皆様にも厚くお礼申しあげま
す。

来年の年末調整

今年の年末調整がすでに終わら
れましたが、来年の年末調整の話に
なります。

**来年から配偶者控除・配偶者特
別控除の条件が変更になります。**

現行の配偶者控除では、配偶者
の年収が百三万円の場合、三十八
万円（老人加算の場合…十万円加
算）が受けられましたが、来年か

らはより細かく段階
的になっております。

しかし、配偶者控除・配偶者特
別控除は変更になりますが、**社会
保険は変更になりません。**

今年の年末に詳細が届きました
ら、商工会より随時お伝えしま
すので、商工会報他ご参考下さい。

確定申告準備

今年も確定申告の時期がやって
まいりましたが、皆様いかがお過
ごしでしょうか。今年は二月十六
日から三月十五日までの間です。

帳簿や領収書の整理や、各種
医療費のまとめなど皆様も準備
の方よろしく願います。

